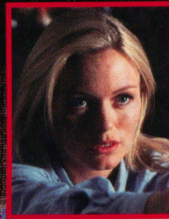
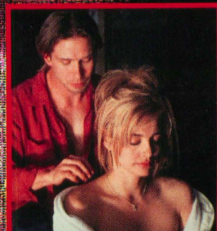
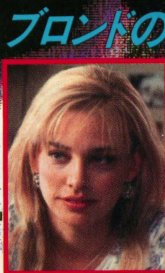
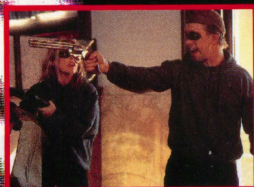


行動は大胆、武器はボディ。

パッツィ・ケンジット スティーヴン・ボールドウィン ジェニファー・ルービン

# ブロンドの標的

PATSY KENSIT/STEPHEN BALDWIN/JENNIFER RUBIN "BITTER HARVEST"  
製作: スティーヴン・ポール、ケリー・ピンコ STEVEN PAUL & GARY BINKOW ■ 脚本: ランドール・フォンタナ RANDALL FONTANA  
製作総指揮: バリー・コリアー BARRY COLLIER ■ 監督: テュエイン・クラーク DUANE CLARK  
1993年度作品 ■ アメリカ映画 ■ クリスタル・スカイ・コミュニケーションズ製作  
配給: テラ・コーポレーション 提供: テレビ東京/テラ・コーポレーション



ブロンドの美女が仕掛けた凄い罠——！

BITTER HARVEST

# 美女の企むスタイリッシュな完全犯罪!

## 危険でセクシーな ブロンドの女は最高!

ハリウッドでは、その昔から女優は、ブロンドがもてはやされた。特にセクシーな女優はブロンドでなければ……、とまで云われた。マリリン・モンローしかり。最近では、シャロン・ストーンがいい例である。しかも、ちょっと悪女っぽい雰囲気があり、その上美女だったら、もう最高である。「危険な情事」「氷の微笑」がヒットしたのも、その一因をなしていると言えよう。

狙った獲物は、どんな犠牲を払っても、例え、体を提供しても必ずものにするブロンドの美女二人と、ターゲットにされた男との蜜のように甘く官能的な三角関係を主流に、それと同時進行する銀行強盗事件を巧みにシンクロさせ、アツと驚く結末が用意されている。

「氷の微笑」の世界的大ヒット以降、緻密に計算された脚本によるスリリングなラヴストーリーが、一つのブームとなり数多くの作品が製作されている。しかし、その殆どの作品は亜流の域を出ない。その中で、魅力あるキャストと繊細な脚本で独自の世界を作り出すのに成功したのがこの『ブロンドの標的』である。

## ミステリアスなストーリー!

主人公トラヴィス(スティーヴン・ポールドウィン)は、銀行強盗事件に巻き込まれて殺された父親の葬儀の後、大農場と時価数百万ドルの古いコインを相続した。彼は、厳格な父親からは開放されたが、世界旅行をしようとする長年の夢は暗礁に乗り上げてしまう。そんな時、彼の農場に道に迷ったというブロンドの美女ケリー(ジェニファー・ルービン)が現れる。内向的なトラヴィスは他人行儀に振る舞うが、ケリーの明るい性格と可愛い魅力で、やがて彼女に魅かれていく。そんなある日、トラヴィスの大農場を購入したいと話をもちかける都会的で妖艶な美女ジョリーン・レーダーに出会う。奇しくも、真っ赤なベンツに乗ってやって来たジョリーン(パッツィ・ケンジット)もブロンドであった。

内気な男に、二人の美女が、何の目的で?ストーリーは興味深く、ミステリアスに進んでいく。男は、震にはめられているのに気づかず、少しずつ彼女達のにめり込んでいく。一体、その罫とは?驚くべき結末が待っていた……

## これ以外ない! 魅力あふれるキャストと スタッフ!!

小気味がいい程ワルなブロンドの美女二人に、人気ポップスグループ、エイズワンダーのヴォーカルを経て、「リーサル・ウェポン2」でメル・ギブソンが憧れる女性役を演じ、トップスターの仲間入りをしたパッツィ・ケンジットと、このところメキメキ頭角を現わしポスト・シャロン・ストーンと呼び声の高い「ドアーズ」「心臓が凍る時間」「ダリアン」のジェニファー・ルービンが扮し、二人とも素晴らしいボディを惜しげもなく披露している。そして、二人の美女に翻弄される男に、ポールドウィン兄弟の末っ子で「7月4日に生まれて」「黒豹のバラード」のスティーヴン・ポールドウィンが好演している。

監督デュエイン・クラークは、19才でUCLAフィルムスクールを卒業した秀才。「ゴースト・バスターズ」、「2010年」などの制作アシスタントを経て、この作品で才能を開花させた。銀行強盗シーンから始まり、スリリングな展開をみせる脚本を担当したランドール・フォンタナは、この『ブロンドの標的』の着想を、1940年代のフィルム・ノワールの名作やジャック・ターナーやニコラス・レイ等の作品から得ているという。

# ブロンドの標的

パッツィ・ケンジット/スティーヴン・ポールドウィン/ジェニファー・ルービン

監督:デュエイン・クラーク/1993年度作品/アメリカ映画/クリスタル・スカイ・コミュニケーションズ製作/配給:テラ・コーポレーション(上映時間:1時間39分)

## 9月10日(土)よりロードショー!

★特別鑑賞券1,400円絶賛発売中!/(一般1,800円/大・高生1,500円のところ)

西武ロフト館前・三葉ビル7F

渋谷シネパレス

03  
(3461)  
3534

東口・紀伊国屋ビルうら

新宿ピカデリー-3

03  
(3356)  
3614

連日 11:30 1:30 3:30 5:30 7:30

連日 11:30 1:25 3:20 5:15 7:10